科目名	公衆衛生			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Public Health			総時間数	15	単　位	1
学　年	３年	学　期	前期	曜　日	金	時　限	2

担当教員	谷　康平	実務者経験	

学習内容	予防医学の重要性を理解し、人口動態や環境問題について考える。
到達目標	現場で活用できる予防医学の知識の習得。

準備学習 時間外学習	医療に関する新聞やテレビの報道に関心を持つこと。
使用教材	系統看護学講座　公衆衛生：医学書院,　　配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	終講試験、出席点

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	公衆衛生とは 保健統計	公衆衛生とは 人口動態統計、死亡原因を説明できる。
2	環境と健康 感染症	公害を説明できる。 感染症法を説明できる。
3	学校と健康 国際保健	学校感染症、歯科疾患 ＷＨＯ，ＪＩＣＡ
4	成人保健 高齢者保健	糖尿病、高血圧の背景
5		

科目名	顎顔面補綴学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Maxillofacial Prosthesis			総時間数	38	単　位	2
学　年	３年	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	1.5

担当教員	①磯村 恵美子 ②山本 雅章 ③濱田 智子 ④小松 友子	実務者経験	①歯科医師、平成16年4月～歯科臨床に携わる、現在に至る。 ②歯科医師、平成19年4月～歯科臨床に携わる、現在に至る。 ③歯科医師、平成16年4月～歯科臨床に携わる、現在に至る。 ④臨床心理士、平成4年4月～総合病院で臨床心理士として臨床に携わる。

学習内容	顎および顔面欠損治療の意義を理解し、補綴装置の制作方法と患者の心理を学ぶ。
到達目標	顎および顔面欠損治療の意義を理解し、補綴装置の制作方法と患者の心理を理解する。

準備学習 時間外学習	1年時の口腔・顎顔面解剖学の復習が必要。
使用教材	口腔・顎顔面解剖学（医歯薬出版）、配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	終講時試験100%で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	生体色彩学	色彩学概論、皮膚のカラーコーディネート、対比現象、顔の構造と色彩
2	生体材料学	生体材料学の基礎、生体材料の適合と反応
3	感染症の基礎と臨床	感染症の基礎、感染予防
4	患者の心理学	心理学概論、患者心理、障害者心理、喪失体験と深層心理、家族支援心理
5	顎顔面解剖生理学	口腔組織の名称、口腔の軟組織、顔各部の配置とバランス、皮膚
6	顎顔面解剖生理学	顎顔面の筋および脈管、顎顔面を構成する骨
7	顎顔面解剖生理学	歯周組織の生理学、口腔の機能、口腔粘膜の感覚
8	顎顔面病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍、鼻・顔面・顎外傷、鼻・副鼻腔の発癌因子
9	顎顔面補綴学	画像診断の基礎
10	顎顔面補綴学	欠損補綴、上下顎欠損補綴
11	顎顔面補綴学	顔面補綴、外傷後の補綴
12	顎顔面補綴学	外科治療の補助装置、放射線治療の補助装置、口腔内インプラント
13	顎顔面技工概論	定義、歴史と背景、症例の分類と装置、症例の分類と装置、チーム医療

科目名	総合領域３			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Synthetic Studies ３			総時間数	45	単　位	3
学　年	３年	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	2，1.5

担当教員	①杉田順弘 ②大石直之 ③倉田浩二 ④石田真里	実務者経験	

学習内容	学説国家試験で出題される科目の国家試験対策を行い、国家試験合格水準まで学力を向上させる。
到達目標	学説国家試験合格水準。

準備学習 時間外学習	2年時の模擬試験の復習が必要。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	模擬試験100%で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
2	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
3	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
4	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
5	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
6	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
7	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
8	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
9	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
10	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
11	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
12	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施

科目名	総合領域４			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Synthetic Studies 4			総時間数	180	単　位	12
学　年	３年	学　期	後期	曜　日	月～金	時　限	2，1.5

担当教員	①杉田順弘 ②大石直之 ③倉田浩二 ④石田真里	実務者経験	

学習内容	学説国家試験で出題される科目の国家試験対策を行い、国家試験合格水準まで学力を向上させる。
到達目標	学説国家試験合格水準。

準備学習 時間外学習	2年時の模擬試験の復習が必要。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	模擬試験100%で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
2	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
3	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
4	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
5	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
6	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
7	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
8	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
9	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
10	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
11	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
12	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
13	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
14	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
15	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学

科目名	総合領域４			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Synthetic Studies 4			総時間数	180	単　位	12
学　年	３年	学　期	後期	曜　日	月～金	時　限	2，1.5

授業計画【テーマ・内容･目標】		
16	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
17	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
18	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
19	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
20	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
21	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
22	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
23	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
24	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
25	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
26	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
27	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
28	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
29	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
30	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
31	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
32	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
33	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
34	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
35	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
36	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
37	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
38	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
39	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学

科目名	総合領域４			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Synthetic Studies 4			総時間数	180	単　位	12
学　年	３年	学　期	後期	曜　日	月～金	時　限	3～4時限

授業計画【テーマ・内容･目標】		
40	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
41	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
42	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
43	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
44	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
45	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
46	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施
47	解答と解説	歯科理工学、口腔顎顔面解剖学
48	解答と解説	歯冠修復技工学、歯科技工士関係法規
49	解答と解説	有床技祭儀工学、小児歯科技工学
50	解答と解説	顎口腔機能学、矯正歯科技工学
51	模擬試験	100問（8教科）の模擬試験の実施

科目名	歯の解剖学実習 3			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental anatomy 3			総時間数	60	単　位	2
学　年	3	学　期	前期･後期	曜　日	火	時　限	1.5

担当教員	①倉田 浩二 ②井上 樹里	実務者経験	②歯科技工士　令和5年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。

学習内容	歯の形態や機能、その周囲の組織を解剖的事項から、歯型彫刻･デッサンにより理解をする。
到達目標	歯の形態的特徴の理解と表現、及び限られた時間内に精度の高い作品を完成させる。

準備学習 時間外学習	実習で使用する石膏棒の作製
使用教材	教科書『歯のデッサンと歯型彫刻』(関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編集) 配布プリント　歯型彫刻学習用拡大模型14本
留意点 備　考	副教材として『口腔・顎顔面解剖学』（全国歯科技工士教育協議会 編集）の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	学期末の実技試験により評価

授業計画【内容･目標】		
1	上顎中切歯 下顎第一大臼歯	上顎中切歯・下顎第一大臼歯 彫刻（90分）終了後作品講評
2	上顎犬歯 上顎第一大臼歯	上顎犬歯・上顎第一大臼歯 彫刻（90分）終了後作品講評
3	上顎第一小臼歯 下顎第一小臼歯	上顎第一小臼歯・下顎第一小臼歯 彫刻（90分）終了後作品講評
4	上顎中切歯 下顎第二小臼歯	上顎中切歯・下顎第二小臼歯 彫刻（90分）終了後作品講評
5	上顎犬歯 上顎第一大臼歯	上顎犬歯・上顎第一大臼歯 彫刻（80分）終了後作品講評
6	上顎中切歯 下顎第一大臼歯	上顎中切歯・下顎第一大臼歯 彫刻（80分）終了後作品講評
7	上顎第一小臼歯 下顎第一小臼歯	上顎第一小臼歯・下顎第一小臼歯 彫刻（80分）終了後作品講評
8	上顎中切歯 下顎第二小臼歯	上顎中切歯・下顎第二小臼歯 彫刻（80分）終了後作品講評
9	模擬試験	模擬試験 2本（70分）終了後作品講評
10	模擬試験	模擬試験 2本（70分）終了後作品講評
11	前期実技試験作品講評	前期実技試験作品講評
12	上顎中切歯 下顎第一大臼歯	上顎中切歯・下顎第一大臼歯 彫刻（70分）終了後作品講評
13	上顎犬歯 上顎第一大臼歯	上顎犬歯・上顎第一大臼歯 彫刻（70分）終了後作品講評
14	模擬試験	模擬試験 2本（60分）終了後作品講評
15	後期実技試験作品講評	後期実技試験作品講評

科目名	有床義歯技工学 4			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 4			総時間数	70	単　位	2
学　年	3	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	1.5

担当教員	①大石直之 ②石田真里 ③前田博規 ④小川博和	実務者経験	③歯科技工士　平成15年1月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ④歯科技工士　平成6年4月～歯科技工所を開設、現在に至る。

学習内容	総義歯、部分床義歯の特色を理解し、技術の向上を目指す。
到達目標	人工歯排列、歯肉形成を制限時間内に完成する。 金属床フレームを用いて咬合床を製作し、個性的排列および想定年齢に適した歯肉形成を習得する。 維持装置(クラスプ)を制限時間内に製作する。

準備学習 時間外学習	過去の基本実習の製作方法を復習するとともに、作品の修正と反復トレーニングを行う。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図、教官の見本作品を参考に各工程での完成をイメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品、実技試験で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	全部床義歯	上顎・金属床義歯　咬合床の製作
2	全部床義歯	上顎・金属床義歯　咬合床の咬合器装着
3	全部床義歯	総義歯（上顎前歯～臼歯排列）
4	全部床義歯	総義歯（下顎6,7,5,4～前歯排列）
5	全部床義歯	総義歯（上下顎排列完了）
6	全部床義歯	総義歯（WAX盛上げ、S字状隆起、舌房の形成）
7	全部床義歯	総義歯（上下唇頬側の形成 &口蓋ヒダ付与）
8	全部床義歯	模擬試験（排列～形成完成）
9	全部床義歯	模擬試験・個人講評～修正
10	全部床義歯	上顎金属義歯　個性的排列
11	部分床義歯	後期試験対策　作業用模型の製作
12	全部床義歯	上顎金属義歯　老齢歯肉形成
13	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　サベイング～設計
14	全部床義歯	上顎金属義歯　個性的排列
15	全部床義歯	上顎金属義歯　老齢歯肉形成

科目名	有床義歯技工学 4			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 4			総時間数	70	単　位	2
学　年	3	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	1.5

回数	授業計画【内容･目標】	
16	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　ブロックアウト～リリーフ
17	全部床義歯	後期実技試験　上下・人工歯排列
18	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作
19	全部床義歯	後期実技試験　上下・人工歯排列　完了　／　上下・歯肉形成
20	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作
21	全部床義歯	後期実技試験　上下・歯肉形成　完了
22	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作
23	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作
24	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作　完了

科目名	歯冠修復技工学実習３			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 3			総時間数	90	単　位	3
学　年	３年	学　期	前後期	曜　日	月・水・金	時　限	2, 1.5

担当教員	①高須賀千紘 ②小塩寛至	実務者経験	②歯科技工士、平成16年1月～歯科技工所を開設、現在に至る。

学習内容	歯科材料の性質，模型の製作，原型の製作，レジン成形，セラミック成形，金属成形，補綴装置の仕上げ，加工技術などの方法および知識を理解し技術を習得する。 知識・技術を歯科臨床の場面に適用し、理論と実践を結び付けて理解できる能力と技術力を習得する。
到達目標	歯科用CAD-CAMシステムの操作方法を習得するためにアクリル樹脂(PMMA)のフルクラウンを完成する。 全技協認定実技試験に合格する。

準備学習 時間外学習	教科書『歯冠修復技工学』（医歯薬出版）におけるクラウンとブリッジの具備要件，製作，CAD/CAMシステムを復習する。
使用教材	教科書『歯冠修復技工学』（医歯薬出版），『歯科技工学実習トレーニング本』（医歯薬出版），　配布プリント
留意点 備　考	教科書『歯科理工学』,専門雑誌『歯科技工』（医歯薬出版）・『QDT』（ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版）等を参考に実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	完成作品の提出後、前期実技試験を行い評価する。後期実技試験を行い評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	作業用模型の製作	歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説できる。CAD/CAMシステムのスキャナーを習得しスキャンデータを作成できる。クラウンの製作順序を説明できる。作業用模型を製作できる。
2	スキャンデータ作成	CAD/CAMシステムのスキャナーを習得しスキャンデータを作成できる。 作業用模型の製作法を説明でき咬合器に作業用模型を装着できる。
3	ワックスアップ	歯のスケッチにより歯の形態を正確に描写できる。前臼歯のﾜｯｸｽｱｯﾌﾟができる。 機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を理解し咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。
4	モデリングデータ作成	歯科用CADソフトウェアが扱える。モデリングデータを作成できる。
5	モデリングデータ作成	歯科用CADソフトウェアが扱える。モデリングデータを作成できる。
6	モデリングデータ作成	歯科用CADソフトウェアが扱える。モデリングデータを作成できる。
7	ワックスアップ	歯のスケッチにより歯の形態を正確に描写できる。前臼歯のﾜｯｸｽｱｯﾌﾟができる。 機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を理解し咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。
8	加工データ作成	歯科用CADソフトウェアで作成したモデリングデータをCAMソフトウェアを扱い加工データの作成ができる。
9	実技模擬試験・講評	前期実技模擬試験(上顎第一大臼歯のﾜｯｸｽｱｯﾌﾟができる)。歯科用CADソフトウェアで作成したモデリングデータをCAMソフトウェアを扱い加工データの作成ができる。
10	加工データ作成	電子メールの送受診および転送ができる。 加工データをNCデータとして加工装置に送ることができる。切削加工装置を扱うことができる。
11	切削・研削・中研磨	切削加工されたPMMAの調整研磨ができる。
12	研磨	歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説できる。歯科補綴装置等のトレーサビリティを説明できる。切削加工されたPMMAの調整研磨ができる。
13	作品提出	歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説できる。歯科補綴装置等のトレーサビリティを説明できる。切削加工されたPMMAの調整研磨ができる。自己点検自己評価表の作成。
14	前期実技試験講評	【前期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第一大臼歯のワックスアップができる。
15	作業用模型の製作	【ﾃｸﾆｶﾙｺﾝﾃｽﾄ模型製作】 クラウンの製作順序を説明できる。作業用模型を製作できる。

科目名	歯冠修復技工学実習３			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations ３			総時間数	90	単　位	3
学　年	３年	学　期	前後期	曜　日	月・水・金	時　限	2, 1.5

授業計画【テーマ・内容･目標】		
16	ワックスアップ	下顎前歯臼歯のワックスアップができる。
17	特別講義	寺尾先生　「現在の歯科治療の流れについてーインプラント補綴，歯周，咬合ー」
18	ワックスアップ	適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎全歯のワックスアップができる。
19	特別講義	寺尾先生　「現在の歯科治療の流れについてーインプラント補綴，歯周，咬合ー」
20	ワックスアップ	適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎全歯のワックスアップができる。
21	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬①試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。
22	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬②試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。
23	後期実技試験講評	【後期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。

科目名	顎顔面補綴学実習			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Maxillofacial Prosthesis			総時間数	102	単　位	3
学　年	3年	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	2, 1.5

担当教員	①杉田順弘②大石直之 ③倉田浩二④田光 創	実務者経験	⑤歯科技工士、平成12年4月～臨床技工に携わる、現在に至る。

学習内容	顔面補綴のエピテーゼの制作方法を学ぶ。 上顎顎義歯の制作方法を学ぶ。
到達目標	作品の完成

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	作品の完成度で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	顎義歯の製作	【実習講義】外形線設計、マウント完了
2	顎義歯の製作	リリーフ、ワイヤー屈曲完了、咬合床
3	顎義歯の製作	人工歯(左上34567の５歯)排列 ～ 咬合調整
4	顎義歯の製作	歯肉形成完了 ～ 一次埋没完了
5	顎義歯の製作	咬合面シリコーンコア採得 スプルーとベントの植立 ～ 石膏面に分離剤塗布 二次埋没完了
6	外耳の製作	手順および材料の取り扱い説明
7	顎義歯の製作	三次埋没完了、WAX軟化(90～120秒間)加熱、脱蝋完了、 スペーサー製作 シリコーンコアでレジンスペースを確認
8	外耳の製作	外耳ワックスアップ～模型上での調整
9	顎義歯の製作	流し込み(常温重合)レジン注入・加圧 (45℃で30分)
10	外耳の製作	フラスコ埋没
11	顎義歯の製作	割出し ～ スプルーカット完了・スペーサー除去 ～　荒研磨・中研磨
12	外耳の製作	流蝋
13	顎義歯の製作	内面の軽量化、蓋部の製作
14	外耳の製作	シリコン内部着色～脱泡～填入
15	外耳の製作	取り出し～外部着色

科目名	顎顔面補綴学実習			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Maxillofacial Prosthesis			総時間数	102	単　位	3
学　年	3年	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	2, 1.5

授業計画【テーマ・内容･目標】		
16	顎義歯の製作	蓋部の研磨 ～ 栓塞子の封鎖完了、仕上げ研磨完成・最終提出
17	エピテーゼ用義眼の製作	強膜の製作　～　虹彩着色　～　瞳孔の接着、血管葉脈の貼り付け
18	エピテーゼ用義眼の製作	角膜の製作　～　形態修正　～　研磨
19	顔面印象	顔面の印象採得デモ
20	顔面印象	各自顔面の印象採得
21	顔面印象	各自顔面の印象採得　～　硬石膏注入
22	眼窩エピテーゼの製作	顔面の模型調整
23	眼窩エピテーゼの製作	義眼埋入　～　ワックスアップ
24	眼窩エピテーゼの製作	顔面コアの採得
25	眼窩エピテーゼの製作	顔面コアの採得　～　シリコーン計量
26	眼窩エピテーゼの製作	シリコーン内部着色　～　脱泡
27	眼窩エピテーゼの製作	填入
28	眼窩エピテーゼの製作	取り出し　～　形態修正
29	眼窩エピテーゼの製作	外部着色　～　眉毛および睫毛の再現　～　完成

科目名	歯科技工実習３			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology　３			総時間数	40	単　位	1
学　年	３年	学　期	前期・後期	曜　日	月～金	時　限	2, 1.5

担当教員	①杉田順弘 ②大石直之 ③山本高徳 ④倉田浩二 ⑤石田真里	実務者経験	

学習内容	各専門教科ごとの実習でで学んだ技術を実践するために、総合的に複数教科に関る技術を理論と結び付けて理解する。
到達目標	総合的に複数教科に関る技術を理論と結び付けて理解する。

準備学習 時間外学習	各専門教科の実習の復習が必要。
使用教材	特になし
留意点 備　考	

成績評価	実習作品・レポートの提出で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	スポーツマウスガード	手順および材料の取り扱い説明
2	スポーツマウスガード	印象採得
3	スポーツマウスガード	模型調整　～　設計
4	スポーツマウスガード	EVAシート圧接　～　形態修正
5	スポーツマウスガード	ネーム入れ　～　仕上げ
6	有床義歯技工学	総義歯の個性配列
7	有床義歯技工学	総義歯の個性配列
8	歯冠修復技工学	クラウンのワックスアップ
9	石膏彫刻	石膏ブロック彫刻
10	有床義歯技工学	部分床義歯の維持装置と支台歯の維持力について理解する。
11	有床義歯技工学	部分床義歯のレジン床の形態について理解する。

科目名	歯科技工実習 6			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology 6			総時間数	120	単　位	4
学　年	3	学　期	後期	曜　日	水木金	時　限	1.5～2.0

担当教員	①杉田順弘②大石直之 ③山本高徳④石田真里 ⑤倉田浩二⑥船渡善夫 ⑦高橋康一⑧小川博和 ⑨榊原秀典⑩小幡宗功 ⑪川本泰世⑫北浦 純	実務者経験	⑥歯科技工士、昭和58年1月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑦歯科技工士、昭和61年4月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑧歯科技工士、平成6年4月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑨歯科技工士、平成10年12月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑩歯科技工士、平成15年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。 ⑪歯科技工士、平成28年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。 ⑫歯科技工士、平成17年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。

学習内容	卒業を見据えた臨床的模型を用いて、製作スケジュールを各自が管理し、定められた症例の装置を完成する。
到達目標	・歯冠修復専攻：インレー、コア、クラウン、ブリッジ、前装冠などの技工物を製作する。 ・有床義歯専攻：部分床義歯、鋳造床、金属床義歯、義歯修理などの技工物を製作する。 ・総 合 専 攻 :歯冠修復物、有床義歯を数症例製作する。

準備学習 時間外学習	各製作工程の目的を確認し、使用材料、器具の使用方法を復習する。 製作方法を復習するとともに、自己作品と完成見本作品を比較し、形態や適合精度、機能性の違いを確認する。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図だけでなく、ＱＤＴ等の専門誌の技工物や教官の見本作品を参考に各工程での完成を イメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	模擬臨床模型実習	《総合専攻のみ記載(例)》・・・計画は各自学生が検討し組み立てる。 実習講義　指示書配布～記入方法／使用機材・材料などの説明／模型配布
2	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：個人トレー製作　設計～リリーフ・ブロックアウト～スペーサー付与 歯冠修復症例　：模型製作
3	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：個人トレー製作　トレー用レジン圧接～ハンドル付与 歯冠修復症例　：模型製作
4	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：個人トレー製作　研磨・完成 歯冠修復症例　：模型製作
5	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：基礎床製作　設計～リリーフ・ブロックアウト～トレー用レジン圧接 歯冠修復症例　：模型製作
6	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：咬合床製作　形態修正・研磨～咬合堤溶着～形態修正・完成 歯冠修復症例　：咬合器装着
7	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：咬合採得を想定した教官の咬合チェック～咬合器装着 歯冠修復症例　：咬合器装着
8	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：サベイング～ブロックアウト・リリーフ 歯冠修復症例　：咬合器装着
9	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　ワックスアップ 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
10	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　ワックスアップ 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
11	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　スプルーイング～埋没 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
12	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　鋳造 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
13	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　割出し～サンドブラスト～スプルーカット 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
14	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　粗研磨～中研磨～仕上げ研磨 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
15	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：人工歯排列～咬合調整 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没

科目名	歯科技工実習 6			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology 6			総時間数	120	単　位	4
学　年	3	学　期	後期	曜　日	水木金	時　限	1.5～2.0

回数	授業計画【内容･目標】	
16	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：歯肉形成 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
17	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：フラスコ埋没(1次～3次) 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
18	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：脱蝋～重合 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
19	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：割出し～粗研磨 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
20	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：中研磨～研磨用レーズ(仕上げ)研磨 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
21	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
22	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
23	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
24	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：適合・メタル調整～研磨
25	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：適合・メタル調整～研磨
26	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：適合・メタル調整～研磨
27	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：適合・メタル調整～研磨
28	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：硬質レジン築盛～形態修正～研磨・完成
29	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：硬質レジン築盛～形態修正～研磨・完成
30	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：硬質レジン築盛～形態修正～研磨・完成
31	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：硬質レジン築盛～形態修正～研磨・完成
32	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：自己評価・感想シートおよび作品の提出開始 歯冠修復症例　：　〃
33	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：自己評価・感想シートおよび作品の提出開始 歯冠修復症例　：　〃
34	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：自己評価・感想シートおよび作品の提出開始 歯冠修復症例　：　〃
35	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：自己評価・感想シートおよび作品の【最終提出】 歯冠修復症例　：　〃

科目名	歯科技工実習７			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology　7			総時間数	70	単　位	2
学　年	３年	学　期	後期	曜　日	月～金曜日	時　限	1.5～2.0

担当教員	①杉田順弘 ②大石直之 ③倉田浩二 ④石田真里 ⑤以倉彩翔	実務者経験	⑤歯科技工士、平成28年4月～臨床技工に携わる、現在に至る。

学習内容	各専門教科ごとの実習でで学んだ技術を実践するために、総合的に複数教科に関る技術を理論と結び付けて理解する。 実技国家試験対策。
到達目標	総合的に複数教科に関る技術を理論と結び付けて理解する。 実技国家試験合格

準備学習 時間外学習	各専門教科の実習の復習が必要。
使用教材	特になし
留意点 備　考	

成績評価	実習作品・レポート等の提出で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	国家試験対策	手順および採点基準、国家試験合格基準の説明とデモ
2	国家試験対策	彫刻、デッサン、講評
3	国家試験対策	ワイヤー設計、ワイヤー屈曲、講評
4	国家試験対策	彫刻、デッサン、講評
5	国家試験対策	ワイヤー設計、ワイヤー屈曲、講評
6	国家試験対策	彫刻、デッサン、講評
7	国家試験対策	ワイヤー設計、ワイヤー屈曲、講評
8	国家試験対策	彫刻、デッサン、講評
9	国家試験対策	ワイヤー設計、ワイヤー屈曲、講評
10	国家試験対策	彫刻、デッサン、講評
11	国家試験対策	ワイヤー設計、ワイヤー屈曲、講評
12	国家試験対策	彫刻、デッサン、ワイヤー屈曲、講評
13	総合領域実習	卒後就職先に合わせた各専門教科の実践実習
14	総合領域実習	卒後就職先に合わせた各専門教科の実践実習
15	総合領域実習	卒後就職先に合わせた各専門教科の実践実習

科目名	歯科技工実習７			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology　7			総時間数	102	単　位	3
学　年	3年	学　期	前期	曜　日	月～金曜日	時　限	1.5～2.0
授業計画【テーマ・内容･目標】							
16	総合領域実習	卒後就職先に合わせた各専門教科の実践実習					
17	総合領域実習	卒後就職先に合わせた各専門教科の実践実習					
18	総合領域実習	卒後就職先に合わせた各専門教科の実践実習					
19	総合領域実習	卒後就職先に合わせた各専門教科の実践実習					
20	総合領域実習	卒後就職先に合わせた各専門教科の実践実習					

科目名	課題研究			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Problem Research			総時間数	100	単　位	3
学　年	3年	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	3～4時限

担当教員	①杉田順弘 ②大石直之 ③倉田浩二 ④石田真里 ⑤髙須賀千紘	実務者経験	

学習内容	グループでテーマを設定し研究、考察し、自ら問題解決のできる能力を養う。
到達目標	研究発表、抄録の完成

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	出席、研究発表、抄録の完成等で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】			
1	全体の説明	テーマ決めとグループ分け 抄録の書き方、実験の進め方の説明	3時間
2	テーマ設定	グループに分かれてテーマ設定	3時間
3	研究	テーマに基づいて調査、研究	3時間
4	研究	以降1回2または1.5時限を28回で完結する。実験、エクセル統計を用いたデータ処理、抄録の作成、発表用スライドの製作	